

#QMX #firmware 1_00_008 利用可能

ハンス・サマーズ

8月6日 #106726

皆さん、こんにちは

ファームウェア 1_00_008 は <http://qrp-labs.com/qmx> にリリースされ、次の変更が含まれています。

1. 降圧コンバータ電源の PWM 制御ループの改善
2. バグ修正: 送信された CW をデコードすると、LCD の間違っただ部分に書き込まれました。
3. バグ修正: CW ビーコンは、ビーコン周波数ではなく VFO 周波数でした。
4. バグ修正: 保存されたメッセージの送信が機能しませんでした
5. CW デコーダーは CW モードでのみ実行します。
6. 一貫性を保つために、診断画面で dit と dah の名前を入れ替えます
7. 送信中のモード変更を許可しない

細部:

1. 降圧コンバータ電源の PWM 制御ループを改善
この変更により、特定の形態の電源電圧乱用に対する耐性が向上します
<http://qrp-labs.com/qmx/smpsstep.html>。

2. バグ修正: 送信された CW をデコードすると、LCD の間違っただ部分に書き込まれました
デジモードステータスインジケータとデコードされた CW の間の競合が原因であることが判明しました。前者はとにかく CW 中に表示されることすら想定されていませんでしたが、ここにバグがありました。これにより、デコードされた CW が画面の誤った領域とカスタム文字メモリに書き込まれ、バッテリー電圧アイコンの外観が損なわれました(有効な場合)。

3. バグ修正: CW ビーコンは VFO 周波数でした、ビーコン周波数ではありません
それを修正しました。これで、CW ビーコン機能を実行すると、ビーコンメニューで定義されている正しい周波数が使用されます。

4. バグ修正: 保存されたメッセージの送信が機能しませんでした
奇妙なことに、私自身のシステムでは、保存されたメッセージが送信されていました。結局、問題は、CW ビーコン(この場合はビーコン周波数)として動作する場合に必要なパラメーターの部分的なチェックを行っていることであることを発見しました。次に、それを使

用せず、エラーを報告しません(CW ビーコンを操作していなかったため)。したがって、CW メッセージの保存は正常に機能します、.私,はビーコンメニューのビーコン周波数を操作帯域の任意の周波数に設定してビーコン機能もテストしていたので、このように設定しました。もちろん、誤エラーが検出されて報告されない状態をトリガーしませんでした...とにかく、それはすべて今修正されています。

5.CW デコーダーは CW モードでのみ実行します

デジモードでは役に立たないので、現在は無効になっています。

6.一貫性を保つために、診断画面で dit と dah の名前を入れ替えます

1_00_007 の修正に続いて、**QMX** と **QCX** をディトネスとダーネスの点で同等にします... 診断画面のキャプションも、一貫性を保つように更新されました。

7.送信中にモードを変更しないでください

たとえば、誰かが **WSJT-X** を使用して送信している場合、コードで本当に混乱し、左ボタンを押してモードを **CW** に変更します...送信中に誰かが動作モードを変更する必要がある正当な理由はないと確信しています。だから私はそれを無効にしました。

バグレポートや観察結果があれば、私に知らせてください!

73 ハンス GOUPL

訳者注：新しいファームウェアは **100_009** となっています。008 のコンパイルの不都合で再度コンパイルした結果だそうです。